

花すみれ

第 11 号
金沢商業高校図書館だより
平成30年 5月24日(木)

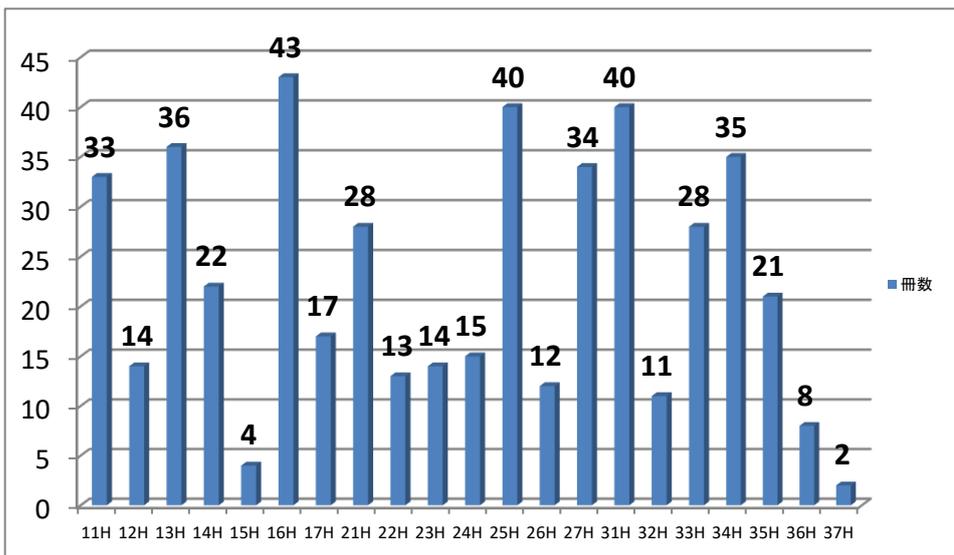
本校の前身、県立金沢董台高等学校の開校時に発表された逍遙歌（しょうようか：学生歌などの意）「真実（まこと）のしるし」の一節より拝借いたしました。みなさんの学校生活を応援する意味をこめて、図書館だよりをお届けします。

季節のことば

小満 (しょうまん)

二十四節季のひとつ。5月21日ごろ、もしくは次の節季「芒種（ぼうしゅ）」までの期間を示します。江戸時代に記された「こよみ便覧」（暦の解説書）によると、小満の欄には「万物盈満（えいまん）すれば草木枝葉繁る」とあります。すべてのものが生き生きと躍動し、草木が生い茂るころ、という意味です。

私たちも、この清々しい気候の元、身も心と生き生きと過ごしたいものです。たくさん言葉や知識を蓄える図書館が、みなさんの「元気」を応援します。



行ってきました、選書会。

5月18日に選書会を行いました。今回は5名の生徒といっしょに書店へ出向き、「図書館にあったらいいな」と思う本を選定してきました。選んだ本は登録、装備など作業を行った後、図書館に排架します。どんな本が並びか、楽しみにしてください。



図書館利用統計 (H30.4.1~4.30)

生徒貸出総数	470冊
開館日数	16日
1日平均貸出数	29.3冊
入館者数	1,767人

展示の紹介
テーマは学校

スクールデイズ

空への助走：福蜂工業高校運動部／壁井ユカコ著

福井県にある数々の高校に通う高校生たちの物語。部活に打ち込む中で人間関係で悩み、そして恋い焦がれる彼ら。今の、そしてかつての自分を投影させながら読むことができるかもしれません。

16歳の語り部／雁部那由多[ほか]著

16歳の高校生たちは、震災のとき奨学5年生でした。東日本大震災から発刊当時で5年がたち、あの壮絶な出来事を語り部として世の中に伝え始めました。

なぜ語らなければならないのか。今しか、彼らしか語ることでできない言葉は、私たちも受け止めなければならない言葉なのです。

いい人ランキング／吉野万里子著

「いい人」のランキングを決めたことで、クラスの中がゆがみ始める。「いい人」と「いい人を演じる」ことは同じなのか、いろんな場面で考えさせられます。



図書館・学習室の利用について

- ・飲食しない。
- ・ゴミが出たらゴミ箱へ。
- ・決まりを守って、みんなが気持ちよく使えるように利用しよう。

読みたい心に火をつけろ！：学校図書館大活躍術／木下通子著

図書館には必ず「司書」がいます。

学校図書館には、タイトル通りの気持ちを常に持った司書が必ずいます。さあ、司書を“どんどん”利用して、図書館を使い尽くしましょう。